

おわりに

「北九州市版幼児教育と小学校教育の接続カリキュラム」の作成に当たり、「北九州市保幼小連携推進連絡協議会」のもと、モデル事業や連携推進担当者の交流会、保幼小連携研修会の実施など様々な取組を通して連携の強化充実を図ってきました。

その連携の中で、保育所（園）、幼稚園、小学校、それぞれが長い歴史の中で培った保育・教育理念や文化を互いに理解し合いながら、どうすれば子どもたちが小学校入学という環境の変化に戸惑うことなく適応できるのかという議論を重ねてきました。今後、本事業が、保幼小の互いの課題を確認するだけでなく、現在の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小学校の教育的営みの抱えている問題点や課題そのものを共有化していくきっかけとなることを願っています。

各施設において実践している保幼小の連携に、今回作成した接続カリキュラムや実践事例を取り入れ日々の保育・教育活動に生かしていただくことが、幼児教育と小学校教育の円滑な接続、そしてなにより子どもたちのよりよい育ちにつながれば幸いです。

最後になりましたが、本カリキュラムの作成に当たり、ご指導いただきました鳴門教育大学教職大学院木下光二教授、北方小学校区・高見小学校区・大谷小学校区の3つのモデル小学校区の保育所（園）、幼稚園、小学校関係者をはじめ、作成に関わっていただいた多くの皆様に、深く感謝申し上げます。

平成30年8月

北九州市教育委員会	指導第一課長	高橋 英樹
北九州市子ども家庭局	幼稚園・こども園課長	井上 尚子
北九州市子ども家庭局	保育所支援担当課長	高松 久美子

※本冊子の写真については、承諾を得て掲載をしています。

個人情報を含んでいますので、ホームページに掲載したり、複製をしたりすることがないように、慎重な取扱いをお願いいたします。



北九州市印刷物登録番号第 1823027 A 号